

りべら

2017.8

145

号

りべら 2017.8 145 号

発行所：公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4階

特集：肺は元気ですか？

息を楽にしよう「呼吸ケア・リハビリテーション」

地域交流スペース「あおぞらイコバ」こんなふうに使えます・・・7

忙中一筆 西淀川を盛り上げたい!! 斉藤千治・・・9

西淀川モノづくり会社 新家工業 株式会社・・・10

西淀川記憶あつめ隊 辰巳正夫さん・・・11

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり・・・12

はじめます 姫里ゲストハウス いこね&くじらカフェ・・・12



西淀川区役所前には2014年に閉鎖された「歌島橋バスターミナル」の建物と敷地が残っています。今年度からその場所で地域の人たちによるイベントが開催されています。来る11/3-4は「みてアート（御幣島芸術祭）」でここが会場の一つに。写真は「にしよどにぎわいイベント」（7/9）でのようすです。

あおぞらフォトギャラリー



資料館の資料をもとに当時の西淀川の状況をシミュレーションする教材の体験会を実施。「西淀川公害患者と家族の会」会長の森脇さんより「50年前にタイムスリップしたよう」という感想が。(2017.7.2)



ノーモアヤコブ被害・人権賞を受賞しました。本受賞を励みに、今後も真摯に地域再生、公害教育などに取り組みます。(2017.6.8)



第42回公害被害者総行動デー。全国の公害被害者が東京に集結し、デモ行進、政府・各省や経団連など業界団体との交渉を行いました。(2017.6.7-8)

お知らせ

・ちゃんと走ろう！（自転車の適正な利用）
・もっと自転車レーンを！
<https://cyclepicnic.wordpress.com/>

●第12回 御堂筋サイクリックニック

歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくりを目指して、御堂筋を自転車でアピール走行します。ママチャリでもロードバイクでもミニベロでも、どんな自転車でも参加可能です。メイン会場では、「自転車マーケット」「ランチ・カフェ」「子ども自転車教室」「自転車試乗会」「抽選会」などを開催予定です。ぜひ、ご参加ください。

- ・日時：2017年9月18日（月・祝）10:00～15:00 雨天決行
- ・場所＝集合・解散／大阪・中之島公園
- ・参加費＝アピール走行協力金500円
- 主催：自転車文化タウンづくりの会
- 企画・運営：御堂筋サイクリックニッククラブ
- 事務局：あおぞら財団



あおぞら財団とは

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
(TEL)06-6475-8885 (FAX)06-6478-5885
電子メール：webmaster@aozora.or.jp <http://aozora.or.jp/>

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判（1978～1998）では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

あおぞらビル

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」
会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前：1,000円／午後：1,300円／夜間：1,300円／全日：3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館（エコミュージム）
西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。
開館日 月曜日と金曜日（10:00～17:00）／要事前電話予約
●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

会員・寄附募集

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

●**賛助会員** 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。
【年会費】個人：年一口5,000円、学生：年一口2,000円、
法人・団体：年一口10,000円

●**会費・寄附の振込先**
*郵便振替口座 00960-9-124893 加入者名：あおぞら財団
*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店 普通 3764689
口座名義：あおぞら財団賛助会員



西淀川区の「がん検診・特定健康検診」で肺年齢測定

肺年齢測定は、大阪市西淀川区では「がん検診・特定健康検診」のときに受けることができます。2016年度から、あおぞら財団は西淀川区役所と協定を結んで、COPDの啓発活動を協働でおこなっていくことになりました。この取り組みは引き続き2017年度も実施しています。



「空気の汚れで病気になるなんて、当時はわかりませんでした」。西淀川の大气汚染公害で呼吸器の病気になった患者さんはいいます。壊れてしまった肺は治りませんが、生活習慣を改善したり、リハビリテーションを取り入れたりとすることで、呼吸を楽にすることができます。あおぞら財団では肺の病気にいち早く気づき、治療を促すこと、および呼吸ケア・リハビリテーションを広めていく活動をおこなっています。空気の問題に苦しんだ地域だからこそ、その地域みんなで向き合いたい課題です。



●がん検診・特定健康検診における肺年齢測定
場所：西淀川区役所 時間：いずれも受付時間は9:30~10:30
2017年8月28日(月)、9月30日(土)、12月3日(日) 2018年2月24日(土)

●参考サイト
(独法)環境再生保全機構 ぜん息・COPDプラットフォーム
<https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/platform/index.html>

本事業は独立行政法人環境再生保全機構の公害健康被害予防事業の一環として実施しています。
※NICE Study,2001 厚生労働省 患者調査,2008

COPDの治療／呼吸ケア・リハビリテーション

COPDの予防や治療には、喫煙している人は、まずは禁煙することが大切です。そして、適切に栄養をとる、運動する、呼吸ケア・リハビリテーションを受ける、薬物療法、酸素療法などがあります。早期発見、早期治療で、少しでも呼吸を楽にして、豊かな生活が送れるよう、みんなでCOPDに向き合しましょう。

わたしの肺は何才？ 肺年齢を知ろう

「COPD(シールピーディー) :聞きなれない言葉かもしれませんが、認知度は全国で25%です(2016年)。日本語では「慢性閉塞性肺疾患」といい、有害物質の吸入や大気汚染によって、肺や気管支が炎症をおこし、呼吸がしにくくなる病気の名前です。厚生労働省は認知度80%を目標に掲げていますが、なかなか及んでいません。息切れ、咳、痰などが症状としてあらわれ、重症化すると死にいたります。日本では死亡原因の第10位(2015年)で、WHO(世界保健機構)は、2030年までに死因の第3位になると予想しています。日本では患者数は500万人以上と言われているのですが、受診している数は少なく、22万人です(※)。「年のせいだから」「体調が悪いから」と、ついついそのままにしておかず、体のサインに目を向けて、わたしの肺、大丈夫かな?と気にかけることから始めてみてください。

問診票で簡単チェック

まずは簡単な質問票でCOPDの疑いがあるかどうかをチェックできます。どれぐらい頻繁に息切れを感じたか、たばこを



肺年齢を測定する機械

肺年齢を測定しよう

次に機械を使って、肺年齢を知ることができます。年齢、身長、性別を入力し、マウスピースをくわえて、6秒間息を吐き続けます。最初の1秒でどれだけ息が吹き出せたか、6秒間全体ではどれだけ息が吹き出せたか、最初の一秒間の割合はどうだったかが数値化され、同じ年齢や性別の人との比較から肺年齢が計算されます。あくまでも目安ですが、「COPDの疑いあり」の結果が出た人は、医療機関に行つて、より精密な検査を受けてください。



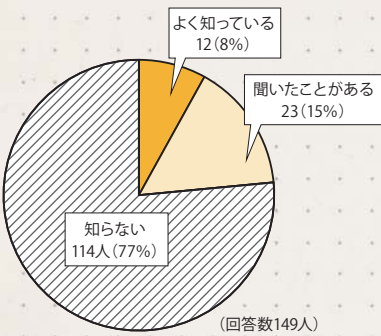
問診票

リスクが高い人ほどCOPDを知らない!?

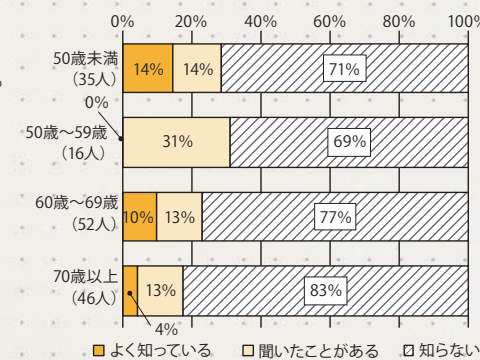
落語家の桂歌丸さんがCOPDの悪化などにより入退院されているというニュースが流れたりするなど、TVや新聞などのマスメディアでもCOPDという言葉を見かけるようになりました。その一方で、COPDとアルファベットが4文字並んでいるためか、まだまだ知らない方も多くおられます。あおぞら財団が2016年度に西淀川区役所で行っている肺年齢測定では、COPDについてアンケート調査を行っています(回答者数149人)。この調査によると、COPDを「よく知っている」人は8%、「聞いたことがある」人は15%と少なく、「知らない」人は77%と大多数になっており、COPDがまだまだ知られていない様子うかがえました。さらに、どういった人がCOPDを知らないのかを調べました。その結果、性別で見ると女性よりも男性の方が知らない人が多く、年齢で見ると年齢が高い人の方が知らない人が多いという結果になりました。COPDは、女性よりも男性の患者さんが多く、また年齢が高くなるほど罹患のリスクが高くなりますが、リスクが高い人ほどCOPDを知らないということがわかりました。

COPDの予防のためには、まずCOPDを知ってもらうことが必要です。もっとたくさんの人にCOPDのことを知ってもらうように、あおぞら財団でもいろんな啓発活動を行っていく予定です。

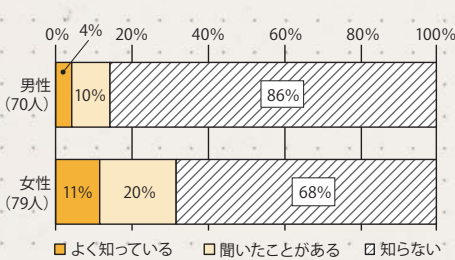
■COPDの認知度



■年齢とCOPDの認知度



■性別とCOPDの認知度





今、求められる 「呼吸ケア・リハビリテーション 人材育成」

公益財団法人結核予防会複十字病院
呼吸ケアリハビリセンター部長

千住秀明

呼吸リハビリテーション
指導員育成はじまる

独立行政法人環境再生保全機構(以下「機構」)では、公害健康被害予防事業(以下「予防事業」)の一環として、予防事業対象地域において地方公共団体が地域住民を対象に行う健康相談、健康診査及び機能訓練事業(以下「ソフト3事業」)に対して助成金を交付し、これらに事業に従事する者を対象とした研修を実施するなど地域におけるぜん息や慢性閉塞性肺

疾患患者(COPD※1)等の発症予防、健康回復に資するための事業を実施している。近年、COPDが増加しており、地方公共団体でもソフト3事業においてCOPD疾患への

■指導者研修修了生の連携図



対策が喫緊の課題となっている。しかし地方公共団体では、呼吸リハビリテーションを指導する医療従事者(理学療法士、看護師等)の確保が難しいため、平成27年度よりCOPD患者を対象と



した呼吸リハビリテーションの指導ができる医療従事者の育成を始めた。

公益財団法人結核予防会は、平成27年度から平成29年度まで機

構の委託を受け、地域において呼吸リハビリテーションを指導する専門性の高い指導者の育成を目的に「呼吸ケア・リハビリ

テーション指導者養成研修」を

実施・運営している。

1年間の養成指導者数は15名で、3年間で45名を養成する計画である。すでに30名が修了し地域で活動を始めている。研修は、

4日間の理論編講義、5日間の実習、1日まとめ演習、計10日間のプログラムで構成されている(表1)。各地域の修了性は、平成27、28年の受講生は関東10名、東海5名、近畿9名、岡山1名、福岡5名、計30名で理学療法士27名、看護師3名である。性別では男性18名、女性12名である。

修了生が地域で活動。今後は全国展開へ

呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修修了者は、「ERCA※2予防事業人材バンク」に登録される。地方公共団体は、機構が有する登録情報照会を行い、登録者に対して予防事業への協力(講師、講師補助、企画相談、広報等)を依頼する。登録者は、呼吸ケア・リハビリテーション専門的知識のノウハウ技術を活用し、講師補助や企画相談者として地方公共団体の事業に協力するほか、地方公共団体からのアンケート

ト調査や広報等についても協力することができる。

修了生は、各地の保健所の依頼に応じてCOPDの啓発活動イベントの肺年齢測定や地域の健康教室の講師として活動を始めている。都内では、東京都東久留米市の医師会がCOPD健診を平成29年7月より開始する。複十字病院のスタッフに加え、関東地区の修了生も参加予定である。修了生は、COPD健診方法やCOPD確定診断者に対して健康教室で学ぶことでCOPDの啓発活動の大切さを学ぶことやCOPDの早期発見、早期治療を行うことで地域住民の健康増進や医療費抑制に寄与することが可能となる。これらの活動を全国的に展開することができれば、呼吸ケア・リハビリテーション人材育成は意義ある活動となり、もっと切実な医療費抑制に大きく寄与することとなる。

※1 COPD:Chronic Obstructive Pulmonary Diseasesの略称。
※2 ERCA:独立行政法人環境再生保全機構Environmental Restoration and Conservation Agencyの略称。

■(表1)平成29年度呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修カリキュラム

会場:公益財団法人結核予防会結核研究所・複十字病院

項目	日付	演題名	講師名
理論	7月21日(金)	COPDの早期診断・早期治療	千住秀明(結核予防会)
		患者が求める呼吸ケアと呼吸リハビリテーション	遠山和子(J-Breath)
		呼吸リハビリテーション概論	木田厚瑞(日本医科大学)
	7月22日(土)	呼吸リハビリテーションと患者教育	植木純(順天堂大学)
		呼吸リハビリテーションと理学療法	千住秀明(結核予防会)
		呼吸リハビリテーションと作業療法	井原晶子(草加内科呼吸ケアクリニック)
		慢性閉塞性肺疾患と呼吸リハビリテーション	桂 秀樹(東京女子医大)
		間質性肺炎と呼吸リハビリテーション	塩谷隆信(秋田大学)
		訪問診療と理学・作業療法	武知由佳子/PT・OT(生き生きクリニック)
	7月23日(日)	東京都の禁煙活動の現状と課題	尾崎治夫(東京都医師会長)
		呼吸リハビリテーションの看護の役割	竹川 幸恵(大阪はびきの医療センター)
		呼吸リハビリテーションと地域連携	堀江 健夫(前橋赤十字病院呼吸器内科)
		事業企画の考え方とポイント	新平 鎮博(国立特別支援教育総合研究所)
		グループディスカッション	新平 鎮博(国立特別支援教育総合研究所) 千住秀明(結核予防会)
		呼吸理学療法の評価法	千住秀明(結核予防会)
	7月24日(月)	胸部単純X線写真の見方・考え方	黒崎敬子(結核予防会)
		呼吸リハビリテーションの地域連携 急性増悪から在宅医療/シームレスなケアを目指して	司会進行 千住秀明

項目	日付	内容	講師名
実習	①8月21日(月)~8月25日(金) ②10月23日(月)~10月27日(金) ③11月13日(月)~11月17日(金)	呼吸リハビリテーション指導実習	千住秀明・髭谷 満 他

項目	日付	内容	講師名
まとめ演習	1月26日(金)	グループディスカッション 各グループの発表と講評	新平 鎮博(国立特別支援教育総合研究所) 千住秀明 他

地域での呼吸リハビリ ～初めてのフライングディスク体験～

みずしま財団

倉敷では、地域でのCOPDの予防と早期発見の推進活動を医師会や保健所、専門職種の方など各主体と連携し「くらしきCOPDネットワーク」と名づけ、進めています。昨年度初めて、患者さん向け講座にフライングディスクを導入。運動負荷が少なく、在宅酸素の患者さんができる運動で話題のものです。岡山県障害者フライングディスク協会に指導頂き実施したところ、会場は歓声が上がり、がんばって応援したり笑いあったりと、患者さん、スタッフの医療従事者ともに大満足の講座となりました。自宅にこもりがちな患者さんにとって、外出・交流・運動の機会と喜ばれています。今年度も実施予定です。(藤原園子)



ディスクの投げ方練習



的にめがけてディスクを投げます



ぜんそくやCOPDなどによって呼吸器に障害が生じた患者さんに対して、可能な限り呼吸機能を回復あるいは維持することが呼吸ケア・リハビリテーションの目的です。現場の取り組みを紹介します。

“呼吸ケア・リハビリテーションリハネットワーク”の立ち上げ

公益財団法人田附興風会医学研究所
北野病院リハビリテーションセンター

大阪市北区に位置する当院では、今年の5月から1回/2か月(年度内6回)、表題の集まりを開催する予定です。勉強会を立ち上げたきっかけは、COPDを含む慢性呼吸不全の患者様の繰り返す入院を減らすためです。そのためには、地域のリハスタッフ、看護スタッフ、ケアマネさんやヘルパーさんと情報や手技を共有する必要があると考えたためです。

第1回(5月20日)の参加は、全員で30名の参加があり、うち当院以外のPT(作業療法士):12名、OT(作業療法士):2名、看護師:6名、ケアマネジャー:2名と多職種の参加がありました。

今後も、呼吸リハの実技と多職種で意見を出し合う症例検討を中心とした勉強会を開催していきたいと思います。ご興味のある方は是非ご参加下さい。(本田憲胤)



グループワークでの発表風景

呼吸ケア・リハビリテーションの現場から

在宅での酸素療法が必要な患者さんの外出機会を増やす

一般財団法人淀川勤労者厚生協会附属
西淀病院リハビリテーション科

西淀病院には呼吸器内科専門医が勤務し、慢性呼吸器疾患の患者様が多く入院されています。当リハビリテーション科では呼吸器リハビリとして個々の患者様に合わせた運動指導をしています。最近では在宅での酸素療法や呼吸ケアが必要な患者様が増えています。そこで当院全体の取り組みとしては、そういった外出機会が減少しやすい方々を対象に医療スタッフ同伴で遠足に行く「HOT(在宅酸素療法)レクリエーション」を毎年行っています。在宅生活に必要な知識をお伝えするあおぞら財団主催の楽しく呼吸会講師も務めています。(榎田八千代)



「HOT(在宅酸素療法)レク」では、医療スタッフが同伴なので安心です。写真は今春、NHKホールと大阪歴史博物館にいった時のようす

患者さん同士で 支えあう 「楽しく呼吸会」

あおぞら財団



呼吸体操

あおぞら財団では、COPDやぜん息などで苦しむ患者さん同士、日頃の病気の悩みを交流したり、病気について学びあえる場として、楽しく呼吸会を開催しています。およそ2ヶ月に一度の頻度で、西淀川区ののぞ診療所、千北診療所、姫島診療所の3つの会場で開催しています。内容は、理学療法士や栄養士、薬剤師などの専門職の方をお招きして、自己管理の仕方、体力測定、栄養、薬、矢倉緑地公園への遠足など多岐にわたっています。どなたでもご参加可能です。詳しくはあおぞら財団までお問い合わせください。(谷内久美子)



矢倉緑地公園への遠足

あおぞら財団ブログ
<環境保健>





Business

浜田化学株式会社

イコバは会議をするのに適していると思います。ホワイトボードが常設されているのもありがたいです。Wi-Fiが使えるので、社内のサーバーにアクセスして会議に必要な資料をすぐに見ることもできます。また、室内もトイレもいつもきれいにそうじされており、使いやすいです。要望としては、利用時間帯が3つにしか区分されていないので、1時間単位で利用できる方がビジネス利用として使いやすいと思います。

「あおぞらイコバ」の
利用者さんに
さいてみました！



Music

SOUND NIGHT主催者

西淀川でDJイベントをやりたいということであおぞらイコバを借りています。あおぞらイコバは木材を活かした空間とコンクリート打ちっぱなしの空間があり、それぞれの雰囲気がとてもよくてDJイベントに向いていると思います。国道2号と大野川緑陰道路に面していて周囲に住宅がないため、音を気にせずにイベントができます。



Shop

虹色手芸店

あおぞらイコバで手づくりと古書のみせをしています。イコバは、木の壁に商品を展示できるなど自由な使い方ができるので使いやすいです。



Lesson

筆文字 まろ

教室としてちょうどよいスペースでした。真ん中に大きな机があって、生徒さんを指導する動線として動きやすかったです。ホワイトボードがあるのも、教えるやすかったです。駅近くなので、遠方から来ている生徒さんには便利だと言われました。



Lesson

あおぞらイングリッシュ

木のおいがる教室で、楽しく教室ができています。国道2号に面していますが、外の音も気にならず、生徒さんも集中して英会話を学んでいます。



Shop

あおぞら市出店者 みやこ菜園

綾部の農園から野菜を出店しています。遠方なので野菜の保存・運搬は大変だけれど、待ってくださるお客さんのために来ています。山菜やウド、フキなどを持ってきて、若いお母さんに食べ方を教えたり、お年寄りに作り方を教えてもらうのも楽しみです。ヨモギを売りに来た時に、若いお母さんがたくさん買っていったのですが、パンやクッキーにするとのこと。私には思いつかない使い方をしてくれるのが楽しいです。



Shop

あおぞら市出店者 谷口ファーム

出店者同士やお客さんに顔見知りが増えました。野菜をつくっているのを知ってもらい、みんなで仲良くできるので、あおぞら市に参加するのが楽しみです。



Shop

あおぞら市出店者 松茶商店

お客さんの近くでお店が出せるのがうれしい。一緒に出店している方に看板や什器を作ってもらいました。いろんなところで出店しているけれど、出店して看板や什器が増えたのは初めてです。

あおぞら市：あおぞらイコバで、毎月第2・第4水曜日に開催しています。無農薬の野菜、雑貨、お茶、ランチなど、様々な種類のお店があります。



「あおぞらイコバ」 こんなふうに使えます！

あおぞら財団が入っているあおぞらビルの1階には、地域交流スペース「あおぞらイコバ」があります。オープンしてから7年が経ち、多様な人々にいろんな目的で使っていただいています。

あおぞらイコバのポイント！

1. 駅に近い！

JR東西線御島駅①番出口を出てすぐなので、遠方の方も便利に利用していただいています。

2. 利用料金がお手頃！

地域の方をはじめ多くの方に気軽に利用してもらえるように、利用料金は格安です。

3. いろんな目的で利用可能！

会議や教室、展示、コンサートなどいろんな目的で利用いただけます。無線LANやスクリーン、プロジェクターなどの設備もありますので、ご相談ください。

他にもこんな使い方があります

- PTAや保護者会の集まり
- ネイル教室
- 勉強会
- 仲間内での飲み会など
- オフ会

あおぞらイコバを借りるには…

お申込み方法

	時間帯	料金	午前・午後	午後・夜間	全日
午前	9:30~12:30	1,000円	2,000円	—	3,000円
午後	13:00~17:00	1,300円			
夜間	17:30~20:30	1,300円	—	2,500円	

利用日までにあおぞら財団までお申し込みください。お申込みは、利用申し込み書を事務所への持参、FAX、メール添付で受け付けます。

●TEL 06-6475-8885 ●FAX 06-6478-5885

●E-mail webmaster@aozora.or.jp

利用・空き状況の確認

あおぞらイコバの利用・空き状況はホームページで公開しています。予約の際にはこちらをご確認の上お申し込みください。

<http://aozora.or.jp/ikoba/schedule>

「こういうふうに使ってみたい」「これはできるかな…」など柔軟に対応しますので、まずはお問い合わせください。詳しくは、あおぞらイコバのホームページをご覧ください。
<http://aozora.or.jp/ikoba>

忙中 一筆

西淀川を盛り上げたい!! 明るく、楽しく、健康に暮らせる町に



斎藤 千治(せいとうちはる)
西淀生まれ、西淀育ち。現在は看護師として西淀病院で働く。四姉妹の父親。趣味はアウトドア、釣り、DJ。昨年から「みてアート」にも関わる。

作りを楽しんでいます。緑も多く木陰もあるので私も子どもとよく散歩したり、春には花見を楽しんだり、私のお気に入りの場所でもあります。この場所です、「みてアート」に参加できることはとてもうれしいことです。今年もドラム缶アートにたずさわってきたいと思っています。



ドラム缶アート

私は西淀川で生まれ、西淀川で育ちました。今も西淀川で暮らし、四姉妹の父親として子育てを楽しんでいます。勤務先は西淀病院で、看護師として働いています。子どものころから、この西淀川は公害で有名であったと学んできました。大気汚染がひどく、空はいつも灰色におわれ、川はドブのように汚れていたと聞きました。西淀病院で働くようになり、公害による喘息の患者さんを多くみるようになり、働いてきました。



SOUND NIGHT

楽しんでもらえるか、人が来てくれるか、と試行錯誤しながら、少しずつお客さんも増えるようになりました。昨年は「みてアート」の中の「みてアート」の間で始まり、どうしたら

楽しんでもらえるか、人が来てくれるか、と試行錯誤しながら、少しずつお客さんも増えるようになりました。昨年は「みてアート」の中の「みてアート」の間で始まり、どうしたら

楽しんでもらえるか、人が来てくれるか、と試行錯誤しながら、少しずつお客さんも増えるようになりました。昨年は「みてアート」の中の「みてアート」の間で始まり、どうしたら

楽しんでもらえるか、人が来てくれるか、と試行錯誤しながら、少しずつお客さんも増えるようになりました。昨年は「みてアート」の中の「みてアート」の間で始まり、どうしたら

西淀川モノづくり会社

モノづくりの町・西淀川へ暮らしの裏方を支えている製造業。同じ区内に住んでいても、実はよく知らない。そこではどんな人が、何を、どんな思いでつくっているのか？をお伝えするページです。

そこかしこに 実はある、 ARAYA 生まれの鋼管

JR神戸線の車窓から、阪神高速池田線から、竹島へ近づくと現れる「ARAYA」の文字。日本で初めて自転車用リム(車輪の外縁、タイヤを取り付ける円環)の製造を始めたことで知られる新東工業、その関西工場だ。建設されたのは1937(昭和12)年。敷地面積、およそ5万4000㎡という同社の主力工場である。この大きな工場

のなかでは日々、こんなものがつくられているのか。関西工場長・商品開発部長の西田昇人さんに案内してもらった。



1.たくさんのローラーが付いたロール機を通して成形していく。 2.資材となる帯鋼。 3.錆止めのペイントを施す設備。 4.こちらが製品。 5.西田さんが持っているのは電車の手すり。脂分や指紋が付かないARAYA独自の表面処理が施されている。 6.自転車のリムの断面。こうした特殊な形状を生み出せるのが同社の強み。 7.西田さんとともに話を伺った取締役の内藤常美さん。 8.自転車製品ではリムだけでなく、「ツバメ」ブランドの完成車も製造・販売している。内藤さんはイベントやパンフレットづくりなどで自転車の普及にも尽力している。



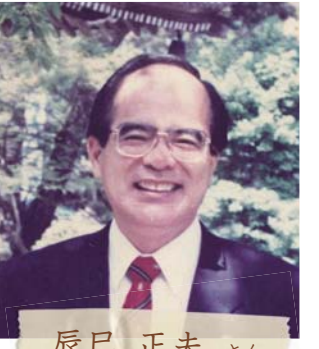
入ってまず目に飛び込んできたのが、渦上に巻かれた巨大な鉄とステンレスの板(帯鋼)。製品の元となる資材だ。これを機械に取り付けると、セロハンテープを引っ張るように、鋼板・ステンレス板が伸びる。板はフォーミングロール機という機械を通ることで、少しずつ丸みを帯びていく。続いて高周波溶接機を通ると丸いパイプの形状に。その後サイジングロール機で製品の形状にあわせて成形。丸いパイプが四角になったりする。最後に切断機でオーダーの長さのカット。と、言葉にするとはシンプルだが、とにかく圧倒的な迫力と機械と鋼板・ステンレス板が動く動く。「自転車のリムをつくるには、薄い金属の板を少しずつ曲げて成形する技術が必要だ。この技術を応用して鋼管製品を手がけるようになったんです」。



新東工業株式会社 関西工場
住所/竹島1-1-59 電話/06-6472-1451
http://www.araya-kk.co.jp/

取材/文:藤原武志

シリーズ 西淀川記憶あつめ隊 Vol.20



辰巳 正夫 さん

2017年5月15日
聞き取り

長らく西淀川で市会議員を務めた辰巳正夫さんから、昔の西淀川の様子についてお話を伺いました。

◆健康を守る会とまちづくり

辰巳さんは、大阪市北区都島生まれで、高槻市育ちです。25歳の時に早稲田大学の大学院を卒業して、西淀川にやってきました。1961年のことです。当辰巳さんは「柏花健康を守る会」に就職します。健康を守る会は、戦後国民健康保険がない中で、西淀川で診療所をつくり、支えるた

めの患者組織でした。「僕が「柏花健康を守る会」に来た時（昭和36年）は、塚本のガード下から野里交差点まで1つも信号がなかった。学校に通うのに信号が要るとなると、信号を渡りたい地域の人たちが署名を集めて警察署へもって行く。そうやってできていく。1つやれば「ここにも作って」と広がっていく」というように、ただの患者組織ではなく、まちの人々の要求をまとめて伝えるという活動を担っていました。

◆公害とともに

辰巳さんが西淀川で活動した時期は、公害で大変だった時期と重なります。1975年に市会議員に初当選して、その後2003年まで7期28年務めます。「公害問題の中で、大阪市の工場を中島工業団地

へ移転させ補償させて、工場移転後の跡地は大阪市が用地取得して街づくりのために使っていくということが、西淀川では重要だった。これは他区ではなかなかなく、西淀川には中島工業団地があったからできたこと。土地利用という点でも要求を実現していく住民運動が西淀川では広がっていきます。また公害で「住宅は建てられない、環境は悪い、人が住むような所ではない、若い人が結婚して出ていくような町だったら、荒廃してついに破綻する。まず公害をなくさないといけない」という気持ちで公害反対運動を行ってきたといいます。

◆住民の意見を直接届ける

辰巳さんの方法は、「西淀川の人たちは公害に苦しむ中から住民本位のまちづくり、教育や医療、福祉、住宅、環境あらゆる問題を自分達の声を行政に反

映していこうと努力し、僕らは毎年大阪市の区役所と各局に交渉しに行った。これは喧嘩ではなく、住民の声を市政に届けるというやり方。常に意識してやっていたのは、担当課へ住民と共に要求をもって請願するというスタイル。住民の要望を聴くと、請け負わずに、必ずその人たちと共に大阪市の担当課に共に一緒に行き、窓口の課長と交渉し、そして市会の委員会でも取り上げた。公害運動で身につけた直接住民の声を行政にぶつけることをやると、住民の意見を直接届けることを心掛けていました。「学校や公園、保育所、市営住宅を造るというのは全部市民に喜んでももらうこと。行政としても実績。役所も、市民に文句言われるより喜んでもらった方が嬉しい。やっていくことは、本来一緒に喜べること。そこをちゃんと分かっていた

ら、市長がどこの政党という問題ではない」と、住民第一の姿勢だったことがうかがえます。 「いろんな善後運動をして、住民に支えられ住民を信頼して、行政に対しても信頼している」と、まちづくりで大切な「信頼」について、教えてくれたインタビューでした。 **林**



小春湯

大和田小学校近くの銭湯。毎日素敵な笑顔で番台に座る店主の桜井智子さんを横目に脱衣所へ。天井の八角形のシャンデリアにうっとり。懐かしの自立式ヘアドライヤーもありノスタルジックな雰囲気。お風呂は種類が多く、珍しい塩風呂もあります。露天風呂やサウナ(追加料金ナシ)もあり常連さんから「慕の内銭湯って言われます」(店主さん談)。そう!毎日でも通いたい、そんな銭湯です。



松の湯

西淀川では珍しいビル型の銭湯。屋上にはきゅうりのグリーンカーテンと光る「ゆ」の文字が。階段を上がると、信楽焼の狸と観葉植物がお出迎えてくれます。浴室には「かかり湯のすめ」や



「お風呂の効能」等の張り紙が。お湯には備長炭と木酢液が入っています。ゆったりしたロビーにも、癒しの植物がたくさん。店主、大海章男さん、ゆみ子さんの心遣いがあちこちに感じられ自然に笑顔に。ゆみ子さんとのお話を楽しみに通う人も。脱衣所に貼られた川柳も秀逸です!

第21回
ぶらりとゆるりと
西淀川めぐり
要こそ銭湯に行こう!

地域のコミュニティ空間「銭湯」。汗を流し、浴室のマイナスイオンでリフレッシュしましょう。 **佐世**



所 大阪市西淀川区姫里1-19-24
(阪神本線姫島駅から徒歩2分)
休 不定休
営 15:30~23:30
☎ 06-6472-3519

所 大阪市西淀川区大和田3-4-7
(阪神本線千船駅から徒歩5分)
休 木曜
営 15:30~23:30
☎ 06-6471-2169
(イラスト:とりやまひろこ)

はじめます

姫里ゲストハウス いこね&くじらカフェ



近年工場の移転などによりマンションや一戸建てが増える西淀川区ですが、趣のある建物が今も残る町に佇む三軒長屋、それが「姫里ゲストハウス いこね&くじらカフェ」です。
ここは西淀川公害訴訟の弁護士でもある井上さんの生家です。現在、ご自宅は別の地へ移されましたが、生まれ育ったこの場所を西淀川の地域のために使ってほしいとの熱い思いがあり、あおぞら財団にご提供いただいています。
あおぞら財団では井上さんの想いを受けて、新しい風を吹き込み、ゲストハウスとカフェという形に変え、この家の再スタートを目指しています。
昭和初期に建てられた和洋折衷の長屋は阪神大震災をはじめ、いくつもの天災を乗り越え、いまもなおしっかりと残っています。
玄関から続く和のエントランス、どの和室からも眺められる中庭、中庭を囲む廊下や縁側、懐かしい雰囲気は大切に、引き続きいできたい空間です。
時を経て醸しだす雰囲気は残しつつ、改修が必要な場所には手を加え、6月19日に改修工事も着工しました。カフェ部分は9月初旬のオープンを予定しています。 **水**

ありがとうございます

(2017年3月～2017年5月 敬称略・順不同)

●入会

お好み焼き ボン
尾上 宏美
高橋 富男
田代 優秋
中島 大賀
平野 勇
吉岡 秀紀

●寄附・寄贈者

吉永 利夫 宮崎 悦子
総合地球環境学研究所 森山 正和
中国環境問題研究拠点 北村 由枝
金谷 邦夫
高橋 富男
田代 優秋
宮本 憲一
植田 喜代子
和田 美頭子
清水 万由子
吉村 良一
井関 和彦
式地 清子
山崎スチール(株)

●お助けボランティア

笹田 和美
宮本 由貴
吉岡 秀紀
左成 志郎
岡村 裕成

緑道散歩

西淀川区内を貫く全長3.8kmの大野川緑陰道路。区民にこいの緑道の風景を紹介します。

突然の雨に、木々生い茂る大野川緑陰道路で雨宿り。6月11日のタンDEM自転車走行会。



スタッフツイッター 編集後記

淀川に架かる「伝法大橋」を自転車で渡るのが好きです。西淀川区から此花区へ向かうとき、左側に並行する阪神電車が見えるからなのか？なんだか川面が近く感じるからなのか？まるで自分が映画のワンシーンにいるような高揚感。お安く贅沢気分を味わっております。

友達に「何の仕事をしているん？」とたまに聞かれます。「環境NPO」だけではなかなか伝わらないので、道路連絡会、みてアート、防災、ゲストハウスのことなどを説明してみたりしますが、かえって何をやっているのかわかりにくくなるみたい。結局「まちづくりのことをいろいろ」って答えています。

りべら No.145 2017年8月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:鎗山 善理子 谷内久美子
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp
デザイン:(株)バード・デザインハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



入団のご挨拶

水田 幸代(みずた さちよ)



今年の4月から財団の職員になりました。水田幸代と申します。私はお隣の淀川区で生まれ、現在は西淀川区野里に在住しています。10年ほど前に西淀川区民になり、地域と関わることができないかと模索していました。西淀川区でパン教室をさせて頂いたことが初めて地域との関わりでした。そこであおぞら市のパンフ

レットを見つけ、見学へ。

あおぞら市開催の光景を目にし、無農薬・オーガニック・体にやさしいもの、環境などをコンセプトにした活動に興味を持ち、まずはできることからと思い、cura pane(クーラパンネ)としてパンやランチを販売するようになりました。この出店があおぞら財団との出会いとなり、今回のゲストハウスとカフェの企画・運営にも携わらせて頂いています(P12)。あおぞら財団の活動に繋がっていく場所であり、地域と人との繋がりが居心地の良い空間を皆さんと一緒に創っていきたくと思っています。よろしくお願いたします。

「りべら」に広告を掲載しませんか？

年4回(季刊)発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】
中面1/9頁:1万円/回、中面1/3頁:3万円/回、中面 全面:9万円/回
※お問合せ先:あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト

～エコでつながる西淀川～



現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局:
浜田化学株式会社西淀川事務所
06-6732-9658

広告

ディサービスセンター

あおぞら苑

あおぞら御膳

あおぞらの湯

【お問い合わせ】
TEL:06-6475-0111 FAX:06-6475-0114
URL: http://aozoraen.com/
運営: 社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日25人

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

Hamada Kagaku
広告

廃棄物でお困りなら 浜田化学のコンシェルジュに お任せください

廃食用油
リサイクル

使い終わった廃食用油

食品残渣
リサイクル

加工中に発生した食品残渣

廃棄物
リサイクル

その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

浜田化学 コンシェルジュ

検索

浜田化学株式会社 ☎06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

広告

医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中!

～「いのちの平等」をめざして～

差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

- ・西淀病院
- ・のぞと診療所
- ・千北診療所

- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ

- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

WHO認証
「地域健康増進支援事業所」
認証施設

看護師
募集中!

一般財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp